

日本感情心理学会 2016 年度 第 2 回 理事会 議事録

1. 日時： 2016 年 6 月 18 日(土)12:15-13:15
2. 会場： 筑波大学 つくばキャンパス 人間系学系棟 A202 会議室
3. 出席者： 中村真(理事長)，有光興記(常)，伊藤義徳(常)，岩永誠(常)，大平英樹(常)，北村英哉(常)，
佐藤徳(常)，澤田匡人(常)，阿部恒之，内山伊知郎，河野和明，佐藤健二，鈴木敦命，戸梶亜
紀彦，樋口匡貴，一言英文，藤井勉，湯川進太郎((常)常任理事)
- 欠席者： 成田健一(常)，余語真夫
- 監事： 谷口高士，伊波和恵

報告事項(中村理事長)

1. 総会について(6月19日11:30-12:15、大学会館(特別会議室))
中村理事長：ご参加，ご協力をお願いします。
2. 理事長指名常任理事の承認について
中村理事長より，前回の理事会で成田先生，伊藤先生を常任理事として承認したことが報告された。
3. その他

審議事項

1. 副理事長の承認について
中村理事長より，副理事長として湯川理事が推薦され，全会一致で承認された。
2. 事務局長の承認について
中村理事長より，事務局長として樋口理事が推薦され，全会一致で承認された。
4. 各種委員長の承認について
 - (1) 編集委員会委員長の承認について
中村理事長より，成田常任理事が推薦され，全会一致で承認された。
 - (2) 学術プログラム委員長の承認について
中村理事長より，大平常任理事が推薦され，全会一致で承認された。
 - (3) 倫理委員長の承認について
中村理事長より，伊藤常任理事が推薦され，全会一致で承認された。
 - (4) 広報 WG について
中村理事長より，阿部理事に引き続き同じメンバーで活動をするようにお願いがあった。
阿部理事：シンボル・デザインの活動終了で，WG を終了としたい。
中村理事長：終了後も継続してもらいたいが，シンボル・デザインの活動終了後に再度検討したい。
 - (5) 事務局関係
引き続き，HP 担当として藤井勉理事，メールニュース担当として薊理津子先生を推薦があり，全会一致で承認された。
有光常任理事：薊先生も理事になってもらったほうが，審議などの進行が伝わり，業務が円滑に進むと思う。

中村理事長：ここで薊先生を理事に推薦したい。

審議の結果、全会一致で薊先生の理事就任が承認された。

5. 2016 年度予算について

中村理事長より、収入と支出の概要について説明があった。

収入減少の要因として、会員の減少がある。

支出が収入を 824,500 円上回っているが、事務経費が昨年度 15%値上がりした影響が大きい。

赤字の解消策として、会費の値上げを行い、総会で承認を得る予定である。

谷口監査：雑誌 1 号分が余計にかかっており、その分を引いても 60 万円ほど恒常的な赤字になる。

会費を値上げしても、20 万から 30 万円ほど赤字になる。選挙費や会議費などを削れる可能性があると思う。会費の納入率の上昇もお願いしたい。

中村理事長：今大会より、大会の予算を学会のものとして考えることにした。そのからの収入増も考えられる。430 名の会員が維持できれば、予算が安定化する。審議としては、予算案をご承認いただきたい。

湯川副理事長：大会補助費 20 万円を返却できれば、収支が合う。

谷口監査：部屋代などがかかると、返却不能となる。不安定要因になる。

佐藤健二理事：投稿が会員外でも投稿できると、会員にならなくてもよい。

岩永編集委員長：正会員以外で採択となった例が 1 件あるのみである。掲載料、審査料の値上げを検討したい。

以上の議論を踏まえて、予算案について審議が行われ、全会一致で承認された。

中村理事長：収入増については、引き続き検討したい。

7. 2018 年以降の年次大会について

中村理事長より、2018 年は伊藤義徳常任理事を大会長として琉球大学で、2019 年は有光常任理事を大会長として駒澤大学で検討を開始することが提案され、全会一致で承認された。

8. その他

(1) 前理事会からの申し送り事項について

・会費未納者について

毎年一定数存在しており、会費納入の働きかけが必要となっている。

・2018 年度以降の年次学術大会開催校について

引き続き、理事の先生方のご協力いただきたい。

・2016 年度セミナーについて

現時点では具体的な内容は決まっていないが、科研費のプロジェクトと共催するなどの企画も検討している。

・エモーション・スタディーズ第 3 巻特集テーマについて

現時点では具体的な内容は決まっていないので、ご提案いただきたい。「嫌悪とヘイトスピーチ」について、現在科学研究費を使用して研究を開始しており、特集としてまとめることができ

る。科研費で出版費 30 万の支出を負担するという形態もありえる。双方に取ってメリットになる。

伊藤常任理事：科研費で支出可能か。

大平常任理事：論文掲載料として可能ではないか。

阿部常任理事：審査などのシステムはどうなるか。

中村理事長：申し込みがあれば審査体制を作って取り組むことになる。どんなものでもよいわけではなく、内容を確認したうえで承認するような形にしたい。

(2) その他

中村理事長：常任理事の先生には、以下のような役割をお願いしたい。

有光常任理事：編集事務局

大平常任理事：学術プログラム委員会

澤田常任理事：ハンドブック、出版関係

岩永常任理事：倫理委員会のサポート

佐藤徳常任理事：学術プログラム委員会

北村常任理事：学術プログラム委員会

阿部理事：学会の開催時期を 12 月にすると、院生の発表チャンスが 2 回になるため、検討していただきたい。

中村理事長：開催時期は、継続して検討する。

澤田常任理事：会費納入時期が 6 月だと、納入を忘れやすいという声がある。

佐藤：以前は 4 月に郵送し、大会時に未納の先生の名前を貼りだして、回収できるようにしていた。

中村理事長：会費納入率の向上のため、納入時期については引き続き検討したい。

以上